

「富士山について知りたい・学びたい」 2019 年度 富士山世界文化遺産出前講座



講座の特徴

- 世界文化遺産「富士山」について、写真や図表を使ったスライドでわかりやすく説明します。
- 入門編から専門講座まで、幅広いメニューを御用意しました。
(内容については、対象者や講座のねらいに合わせますので、お気軽に御相談ください)
- 講師は世界遺産センターの教育普及スタッフや研究員が務めます。
- 県内どこへでも出張いたします。講師料・旅費等の費用は無料です。
〔 会場までの交通事情によっては、最寄駅からの送迎をお願いする場合があります。また、県外での実施については条件があり、旅費の負担をお願いします。 〕



目次

○シラバス

< 総論 >

富士山入門1~2

< 各論 >

芸術:美術 3~4

自然科学:火山・地質・防災.....5~6

史学:歴史(信仰) 6~7



文学:古典文学7~8

文化:民俗・文化遺産.....8~9

○対象・申込方法・お問い合わせ10

○申込用紙

富士山世界文化遺産出前講座シラバス

<p>担 当</p>	<p>うえの ひでき しらとり みのる 植野 秀樹 主幹 ・ 白鳥 稔 主査</p> <p>世界遺産に登録されたことは知っているけど、詳しいことはよくわからない。子どもたちに教えてほしい。など…</p> <p>ここに載っている講座はあくまでも一例です。たくさん子どもたちや県民の方々に、世界文化遺産である富士山に興味・関心をもってもらうことが目的です。</p> <p>講座時間や講座内容など、対象となる児童・生徒の実状に応じて対応いたします。「総合的な学習の時間」の地域研究や環境学習、課外活動の一コマとしてどうですか。一般の講座や研修への出講も行います。お気軽にご相談ください。</p>	 
<p>区 分</p>	<p>富士山入門（基礎～中級）</p>	
<p>目 的</p>	<p>富士山についての興味や、世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」についての興味・関心を育成し、発展的な学びのきっかけとする。</p>	
<p>必要機材</p>	<p>パソコン(パワーポイント付きのもの)、プロジェクター、ケーブル(VGA・HDMI いずれでも可) スクリーン 等</p>	

1. ふじさんってどんな山？(クイズ形式)

- (1) 対 象
 - ・小学校
- (2) 講義時間
 - ・1授業時間(～45分)
- (3) 内 容
 - ・写真を見ながら、クイズやお話を通して富士山の自然、植物、動物などを楽しく学習します。

2. ふじさんってどんな山？(実習形式)

- (1) 対 象
 - ・小学校
- (2) 講義時間
 - ・1授業時間(～45分)
- (3) 内 容
 - 富士山を描いたり、クイズやお話を通して富士山の成り立ちなどを楽しく学習します。

3. 世界遺産の富士山を学ぼう

- (1) 対 象
 - ・小学校 高学年、中学校、高校、一般
- (2) 講義時間
 - ・1～2授業時間(45～100分)
- (3) 内 容
 - ・世界遺産とは何か、富士山の世界遺産としての価値とは、世界遺産「富士山」の課題等について、講義やグループワークに取り組みながら学習します。

4. 富士山の歴史を学ぼう

(1) 対 象

・小学校 高学年、中学校、高校、一般

(2) 講義時間

・1～2授業時間(45～100分)

(3) 内 容

・数十万年に及ぶ火山としての富士山の成り立ちや、噴火という自然現象に端を発する富士山信仰、富士登山の歴史を、講義やグループワークに取り組みながら学習します。

5. 富士山の自然と世界文化遺産

(1) 対 象


・小学校 高学年、中学校、高校、一般

(2) 講義時間

・1～2授業時間(45～100分)

(3) 内 容

・なぜ富士山は自然遺産ではなく文化遺産なのか、富士山の自然と「世界文化遺産」とのつながりに ついて、講義やグループワークに取り組みながら学習します。

<p>担 当</p>	<p>まつ しま じん 松 島 仁 教授</p>  <p>中世から近世にかけての日本美術史・文化史が専門で、政治と文化の相関関係について研究しています。なかでも徳川将軍と狩野探幽(1602～74)以下の狩野派絵画について関心をもっています。目下の研究テーマは、徳川将軍が肖像画や縁起絵、源氏物語絵、歌仙絵、歌意図、洛中洛外図、富士山図といった伝統的な絵画主題を自己本位に読み替えることにより、いかに文化的な正統性を獲得し、天皇をいただく王朝世界さらに中華世界の文化伝統に対峙しようとしたか——徳川将軍の文化装置としての視覚イメージです。</p> <p>静岡県富士山世界遺産センターでは、日本人の心性や美意識を歴史的に映し出してきた“日本の肖像”、さらに日本という共同体を象徴的に可視化／記号化するアイコンとして富士山を位置づけ、歴史的にそれがいかに表象されてきたかについて研究していきます。</p> <p>また海外と日本をつなぐ“芸術の源泉”としての富士山について、これまで知られてきた 19 世紀ジャポニスムへの浮世絵版画の影響だけでなく、17～18 世紀シノワズリ(東洋趣味)を彩った富士山デザインの美術・工芸作品に対する調査を進めつつ検証します。</p>
<p>分 野</p>	<p>・ 文化、芸術(美術)</p>
<p>目 的</p>	<p>1. 富士山絵画の歴史を学びながら、心の中かの富士山を絵に表し、富士山への想いを伝える。 2. 豊富な画像とともに古代から近世、近代にいたる富士山イメージの歴史をたどり、“芸術の源泉”としての富士山の意義を考える。 3. 古代から近世に描かれた富士山絵画の歴史を和と漢からなる日本文化の二重構造に位置づけたうえ、その“芸術の源泉”としての文化史的意義について考える。 4. 徳川将軍と富士山をめぐる政治的・文化的関係について、富士山絵画や関連史料をひもときつつ考える。</p>
<p>必要機材</p>	<p>パソコン(パワーポイント付きのもの)、プロジェクター、ケーブル(VGA・HDMI いずれでも可) スクリーン 等</p>

1. ふじさんを描いてみよう!

(1) 対 象

・小学校、中学校

(2) 講義時間

・1～2授業時間(45～100分)

(3) 内 容

・古来、富士山は絵画や写真、工芸のモチーフとなり、さまざまなカタチをとり表現されてきました。日本人にとって富士山こそは、描き手や作り手のインスピレーションをかきたてる魅力あふれる“カタチ”でもありました。講座ではまず絵画や工芸など富士山をめぐるイメージのいろいろを鮮やかな画像とともに紹介したあと、(写生ではない)自由な発想により、それぞれの富士山を描き、それぞれの富士山への想いを伝えていただきます。また受講者のニーズに応じ、塗り絵に替えることも可能です。

・画用紙(受講者分)、クレヨンや絵具などの画材 の御用意をお願いします。

2. 富士山のかたち、いろいろ

(1) 対 象

・中学校、高校、一般

(2) 講義時間

・1～2授業時間(50～90分程度、3～15回など連続講座形式も可)

(3) 内 容

・みなさんは毎日どこかで富士山を見ているのではないのでしょうか？ 富士山が厚い雲に覆われる日さえも——。企業や官公庁のロゴマーク、キャラクターグッズ、T シャツのデザイン、富士山の形をしたお菓子などなど、私たちのまわりには富士山をめぐるイメージが氾濫しています。

講座では日本人の心性や美意識を歴史的に映し出してきた“日本の肖像”、さらに日本という共同体を象徴的に可視化／記号化するアイコンとして富士山を位置づけたうえ、歴史的にそれがいかに表象されてきたかについて、絵画や写真、工芸など豊富な画像とともに、受講される方の年齢層に応じわかりやすく解説していきます。皆さんが今日にしているフジサン・デザイン、その長い歴史をひもといていきます。

3. 日本の美と心 — 富士山

(1) 対 象

・一般(大学～)

(2) 講義時間

・1～2授業時間(60～90分程度、3～15回など連続講座形式やゼミ形式併用可)

(3) 内 容

・「信仰の対象」「芸術の源泉」として古来人々を魅了しつづけてきた世界遺産富士山。それは日本人の心性や美意識を歴史的に映し出してきた“日本の肖像”であると同時に、日本という共同体を象徴的に可視化するアイコンでもありました。

本講座は、日本文化の基層をなす和(ヤマト)と漢(カラ)の二重構造を軸に日本絵画史を通史として把握します。そのうえで富士山をモチーフとした絵画や工芸の歴史をたどり、富士山に象徴された日本人の精神史を視覚イメージの側面から検証していきます。

4. 富士山と徳川将軍

(1) 対 象

・一般(大学～)

(2) 講義時間

・1～2授業時間(60～90分程度、3～15回など連続講座形式やゼミ形式併用可)

(3) 内 容

・富士山と徳川将軍をめぐる政治的・文化的な関係に焦点をあてる本講座では、まず徳川将軍のもうひとつの戦い——文化戦略について御用絵師 狩野探幽(1602-74)の絵画世界をひもといていきます。そして富士山が徳川将軍を象徴する存在として位置づけられ、富士山をめぐる視覚イメージが将軍権力を正当化するための文化装置として機能していった過程を、探幽による富士山図のなかに確認します。そのうえ

ボックス・トクガワ
で“徳川の平和”のなか生み出された多様な富士山絵画について、豊富な画像とともに解説します。

<p>担 当</p>	<p>こばやし まこと 小林 淳 准教授</p>  <p>私の専門は、火山学、火山地質学です。野外調査で噴火堆積物(火砕物、溶岩)の積み重なりや拡がりを調査し、数10万年間に及ぶ火山の生い立ちを研究しています。この研究は火山の癖を理解することに役立ち、来るべき次の噴火の対策に繋がるものです。一方、巨大な山体を有する富士山は溶岩流等が山麓の広い範囲にも分布し、構成資産の成立過程と密接な関連があります。これらの観点から火山としての富士山の特徴を幅広く紹介します。</p>
<p>分 野</p>	<p>・自然(火山、地質、防災)</p>
<p>目 的</p>	<p>1. 静岡県の活火山(富士山、箱根山、伊豆東部火山群)について、それらの地形や噴火史、噴火堆積物の特徴を比較し、これらの火山の違いやそれらの違いが生じた要因について考え、火山としての富士山の特徴を発見する。 2. 火山・火山噴火及び火山災害の一般的な解説を行い、それらの複雑性・多様性について理解するとともに、富士山の火山・火山噴火の特徴を理解する。その上で富士山の火山防災(ハザードマップ)について理解する。 3. 富士山の地形データを利用して火口・溶岩流等の判読を行い、噴火によって形成される地形の特徴を理解する。そして、青木ヶ原、白糸の滝等を事例に、それらの成り立ちと噴火との密接な関係について理解を深める。</p>
<p>必要機材</p>	<p>パソコン(パワーポイント付きのもの)、プロジェクター、ケーブル(VGA・HDMIいずれでも可)、スクリーン ※ 室内実習;超音波洗浄機、蒸発皿、実体顕微鏡等があれば望ましい。</p>

1. 静岡県の活火山(富士山・箱根山・伊豆東部火山群)を比較してみよう

- (1) 対 象
・小学生、中学生、高校生、一般
- (2) 講義時間
・1 授業時間(50分、90分)
- (3) 内 容;
・フィリピン海プレートの衝突域に形成された火山
・それぞれが置かれた応力状況等に対応した火山の形と噴火様式・噴火史
・富士山の特徴(非常に若く活動的で巨大、各時代で火口分布・噴火様式等に特徴)

2. 富士山の噴火史と火山防災(ハザードマップの読み方)

- (1) 対 象
・高校生、一般
- (2) 講義時間
・1 授業時間(90分、120分)(1 授業時間(90分)×2回でも可)
- (3) 内 容;
・多様な火山の形式(岩質、噴火タイプ)と噴火様式
・噴火によって引き起こされる様々な火山災害の特徴(多様性:種類、空間、時間)
・富士山の噴火史とハザードマップの作成の考え方
・富士山ハザードマップの読み方

3. 富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く

(1) 対象

・高校生、一般


(2) 講義時間

・1 授業時間(50 分、90 分)

(3) 内容

- ・地形形成に係る諸要因(浸食、堆積、変動)
- ・噴火によって形成される地形とメカニズム(割れ目噴火、溶岩流・溶岩ドーム等)
- ・地形判読の方法の歴史(地形図、空中写真、数値地図; 赤色立体図)

富士山世界文化遺産出前講座シラバス

担 当	<p style="text-align: center;">おお たか やす まさ 大 高 康 正 准教授</p> <p>専門は日本中世史、社会史です。多くの人々を魅了してやまなかつた寺社参詣、聖地巡礼の世界を研究しています。古文書・古記録や絵画資料、民俗資料などを通して、信仰の対象としての富士山の歴史を広く、深く紹介します。</p>	
分 野	・ 歴 史 (信 仰)	
目 的	<p>1. 昔の人々が富士登山する際、どんなルートで、どこに立ち寄り、富士山を目指していたのか、室町時代の宗教画をもとにして学習する。そこから当時の人々が富士山に対して抱いていた思いについて、考える機会とする。</p> <p>2. 昔の人々が富士登山する際、どんなルートで、どこに立ち寄り、富士山を目指していたのか、江戸時代の案内図をもとにして学習する。そこから当時の人々が富士山に対して抱いていた思いについて、考える機会とする。</p> <p>3. 世界文化遺産富士山の「信仰の対象と芸術の源泉」というテーマのひとつ信仰の対象としての富士山について、その歴史を知ることによって学ぶ機会とする。</p>	
必要機材	<p>パソコン(パワーポイント付きのもの)、プロジェクター、ケーブル(VGA・HDMI いずれでも可) スクリーン、絵画のレプリカを掲示するための黒板 等</p>	

1. 富士山の参詣曼荼羅(さんけいまんだら)の絵解き(えとき)

(1) 対 象

・小学校、高学年、中学校、高校、一般

(2) 講義時間

・1 授業時間(～50 分)

(3) 内 容

・中世、室町時代の人々の富士登山について、富士山本宮浅間大社所蔵の宗教画「富士曼荼羅図(ふじまんだらず)」に描かれている各場面を絵解き解説することで、当時の人々の富士登山について追体験する。

2. 江戸時代の富士登山

(1) 対 象

・小学校 高学年、中学校、高校、一般

(2) 講義時間

・1授業時間(～50分)

(3) 内 容

・近世、江戸時代の人々の富士登山について、富士山かぐや姫ミュージアム(富士市立博物館)所蔵の登山案内図「富士山禅定図」(ふじさんぜんじょうず)に描かれている登山道や、立ち寄り先などを解説することで、当時の人々の富士登山について追体験する。

3. 富士山の歴史を学ぶ

(1) 対 象

・高校、一般

(2) 講義時間

・1授業時間(～50分)


(3) 内容

・富士山に関する歴史について学ぶ講義形式の授業。内容については、富士山信仰に関する講義が中心となるが、受講者の希望によって地域性や時代を考慮した内容に適宜組みかえることも可能。

【講義内容の例】

「富士山の縁起とかぐや姫」、「富士山の山岳修行と修験道」、「富士山の各登山口と登山道」、「富士講の流行と富士塚」など。

富士山世界文化遺産出前講座シラバス

<p>担 当</p>	<p style="text-align: center;">た し ろ か ず は 田 代 一 葉 准教授</p> <p>専門は、日本の古典文学で、特に江戸時代の和歌や俳諧、古典学について勉強をしています。</p> <p>富士山を中心とした駿河国の歌枕について、詠みぶりの時代的な変遷をたどるほか、紀行文や小説類にも目配りをしつつ、言葉の側から「芸術の源泉」としての富士山の魅力を追求していきたいと思っております。</p> 
<p>分 野</p>	<p>・ 文 学</p>
<p>目 的</p>	<p>1. いつも仰ぎ見る富士山のすばらしさを、俳句という短い詩にすることで再発見し、一層の親しみを持たせる。</p> <p>2. いにしえから繰り返し讃えられてきた富士山について、古典文学を通して知ること、「芸術の源泉」としての一面を理解する。</p>
<p>必要機材</p>	<p>特になし（印刷物で対応します）</p>

1. 富士山をほめよう

(1) 対 象

・小学校

(2) 講義時間

・1授業時間(～50分)

(3) 内 容

富士山の俳句を作る グループで合評

- | | | |
|-------------------------|------------|------------------------------|
| 1 俳句の基礎 | 2 名句鑑賞 | 3 富士山の良いところを書き出してみよう(ワークシート) |
| 4 「5・7・5」にまとめよう(ワークシート) | 5 グループでの合評 | 6 富士山のよさとは(討議) |

2. 古典文学と富士山

- (1) 対 象
・中学校、高校、一般
- (2) 講義時間
・1～2授業時間(60～90分程度)
- (3) 内 容
- 1 和歌と富士山① 山部赤人歌は「田子の浦ゆ」か「田子の浦に」か
 - 2 和歌と富士山② 恋の歌枕の系譜
 - 3 物語と富士山 『竹取物語』、『伊勢物語』など
 - 4 江戸文学と富士山 芭蕉の句、地誌、紀行文など

富士山世界文化遺産出前講座シラバス

担 当	<p style="text-align: center;">やま かわ ゆき のり 山 川 志 典 研 究 員</p> <p>専門は民俗学と文化遺産学です。民俗学分野としては、富士山麓で暮らす人々が伝承してきた、自然環境との付き合い方や生活を営むための知恵・工夫について、生活道具や祭礼・芸能、口承文芸等を手がかりにしながら研究しています。文化遺産学分野としては、世界遺産である富士山を軸に、国内外の文化遺産の保護—どのように伝え、遺していくのか—のための仕組みや考え方について研究しています。</p>
分 野	・ 文化(民俗学、文化遺産学)
目 的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界遺産の理念や制度内容、および無形文化遺産や日本の文化財保護制度を通じて文化遺産の保護に関する取組みについて学び、文化を遺す・伝えることを考える機会とする。 2. 世界遺産の理念や制度内容、および富士山を中心とした国内外の世界遺産の保護について学び、国際的な文化や自然の保護について考える機会とする。 3. 富士山麓の自然環境を利用した暮らしを、動植物を利用した食・住・生業やそれらに使用された物(生活用具)、あるいは動植物にかかわる伝承から捉え、富士山の自然環境と人の関係性ならびに今後の関わり方について考える機会とする。 4. 富士山および周辺にまつわる説話・伝承から、物語の内容やその背景、ならびに伝承の担い手について知る機会を設け、地域での今後の継承について考える機会とする。
必要機材	<p>パソコン(※持参します)、プロジェクター、ケーブル、スクリーン ※パソコンが使えない会場の場合、印刷物や黒板で対応することも出来ます</p>

1. 世界遺産ってなあに？

- (1) 対 象
・小学校、中学校
- (2) 時 間
・1授業時間(50～60分程度)、複数回の開催も可能
- (3) 内 容
・世界遺産になった富士山。でも、そもそも世界遺産ってどんな制度なのでしょう。なぜ世界遺産が始まったのか、どのように世界遺産を決めるのか、そしてどのように遺していくのか。また、日本や世界にはどのような文化や自然が遺産となって伝えられようとしているのでしょうか。観光するだけではない、世界遺産の世界へご招待します。
- 講義(解説を中心に適宜発問・質疑応答)、ワークショップ、調べ学習等との組み合わせも可能。

2. 世界と地域の文化遺産～私たちが遺す・伝える～

- (1) 対 象
 - ・小学校、中学校、高校、大学、一般
- (2) 時 間
 - 1 授業時間(60～90 分程度)、複数回の連続講座・ゼミ形式も可能
- (3) 内 容
 - ・世界遺産の成り立ちや制度の仕組み、世界遺産と無形文化遺産や日本の文化財との関連を扱うことで、それら文化遺産保護制度の内容や具体事例を紹介する共に、私たちに身近な文化を遺す・伝えることについて考えていきます。
 - 講義(解説を中心に適宜発問・質疑応答)、ワークショップ、調べ学習等との組み合わせも可能。

3. 富士山と私たちの暮らし

- (1) 対 象
 - ・小学校、中学校、高校、大学、一般
- (2) 時 間
 - ・1 授業時間(50～90 分程度)、複数回の連続講座・少人数ゼミ形式も可能
- (3) 内 容
 - ・富士山から駿河湾に広がる静岡県では、その豊かな自然を利用した人々の暮らしが続いています。特に富士山麓では、山麓の動植物を利用した暮らしが、遺された道具やお話からうかがえます。少し昔の人々の暮らしぶりを手がかりに、今の富士山と私たちの暮らしについて考えてみましょう。
 - 講義(解説を中心に適宜発問・質疑応答)、ワークショップ、連続する場合は調べ学習や受講者による調査等も組み入れる。

4. 富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話

- (1) 対 象
 - ・小学校、中学校、高校、大学、一般
- (2) 時 間
 - ・1 授業時間(50～90 分程度)、複数回の連続講座・少人数ゼミ形式も可能
- (3) 内 容
 - ・神秘の山である富士山とその周辺には、たくさんの不思議なお話やちょっと怖いお話が数多く伝わっています。なぜこのような話がうまれ、伝えられてきたのでしょうか。不思議なお話やちょっと怖いお話を題材に当時暮らしていた人たちの考えていたこと・思っていたこと、そしてお話を伝えてきた人々の姿について探ってみましょう。
 - 講義(解説を中心に適宜発問・質疑応答)、連続する場合は調べ学習や受講者による調査等も組み入れる。

○対象と活用方法

対象		活用方法(例)
学 校	小・中学校 高等学校 大学 各種学校	<ul style="list-style-type: none"> ・センター来館の事前、事後学習 ・総合的学習(富士山学習、地域研究、環境学習 等) ・課外活動(部活動、校外学習 等) (朝霧野外活動センター等、外部施設へも出張します。) ・各種研修(教職員に対する研修も承ります。) ※アクティブラーニング(児童・生徒との質疑応答、調べ学習 等)にも対応します。
一 般	各種団体 公民館など	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターや公民館で行われる講座への出講 ・各種イベントへの出展、教養講座など

※注意事項

- (1) おおむね 10 名以上の団体を対象とします。ただし、営利目的や政治・宗教活動、その他事業の趣旨に適しないと認められる場合、対象になりません。
- (2) 実施時間については、曜日を問わず勤務時間内(8:30～17:15)を原則とします(年末年始を除く)。遠隔地や夜間の授業等の実施については、その都度相談に応じます。金・土・日・月曜日は、センターの勤務形態の都合上開館業務を優先するため、お断りする場合があります。
- (3) 県外における「富士山入門」の実施については、センターへの来館を条件とさせていただきます、事前(事後)学習としての申込みのみお受けします。

○申込方法

申 込 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・申込用紙に必要事項を御記入の上、FAX又はメールにてお申し込み下さい。 ・シラバスに掲載した講座は一例です。講座内容について御要望がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
F A X の 場 合	0544-23-6800
メー ル の 場 合	mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp

○お問い合わせ

静岡県富士山世界遺産センター 企画総務課 教育普及班

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

電話番号 0544-21-3776 FAX 0544-23-6800(担当 : 植野・白鳥)

